

磯子区社協からのお知らせ

善意銀行

～あなたかのご寄付をありがとうございます～

令和元年8月1日～12月31日(順不同、敬称略)

- <金銭>** 【個人】太田 明/高橋 昇/匿名1名
 【団体】中央労働金庫 杉田支店 推進幹事会
 岡村西部連合自治会 子ども会
 国際ロータリー第2590地区 横浜磯子ロータリークラブ
 横浜労働協 なぎさ支部/こども会連絡協議会
 日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜第114回
 株式会社 ネダテ住建/横浜市磯子センター

- <物品>** 【個人】猪越 重吉
 【団体】磯子地区連合町内会

～ご寄付の方法について～

磯子区社会福祉協議会へお持ちいただくか、ご連絡の上、下記の銀行口座にお振込ください。なお、確定申告などによって、所得税法及び地方税法上の寄付金控除をうけることができます。
 横浜銀行 磯子支店(341) (普通) 6079872
 名義:社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 善意銀行
 物品についてはお問い合わせください。

賛助会員募集のご案内

【賛助会員】は、社協活動をより充実させていくため、趣旨にご賛同いただける方に財政的支援をお願いしている会員制度です。いただいた賛助会費は、区内の福祉保健活動に役立てられています。

- 賛助会員会費
 <個人>年額 1口1,000円 <法人>年額 1口10,000円
- 入会方法・手続き
 郵便振替 口座番号:00240-9-77406
 ※お問い合わせいただければ振込用紙をお送りいたします。
 また、直接磯子区社協窓口でもお受けいたします。

- ～会員特典～
- 各種情報誌やお知らせを通じて、様々な福祉情報をお届けします。
 - 提携、協働事業等を通じた活動支援・運営支援を行っています。

●ご協力ありがとうございました!●

- 令和元年4月1日～12月31日(順不同、敬称略)
- 【団体】 アニメイト(株) / (株) マキネットシステム
 JFE鋼材(株) / (有) 山崎表具店 / (株) コスモテック
 東京液化酸素(株) / (株) メイク/横浜せれも(株)
- 【個人】 光山 九州生

福祉いそごの音声データを作成しています!

視覚障害者の方々のために、「福祉いそご」は録音ボランティアグループ「アマリスの会」のみなさんが音声データの作成をしています。ご希望の方は無償で配布いたしますので、磯子区社会福祉協議会(045-751-0739)までご連絡ください。

◆愛読者アンケート◆

アンケートにご協力いただきました方から抽選で図書カードをプレゼントいたします。

- 応募は、はがき・FAX・Eメールで、
 ①郵便番号・住所・氏名・TEL・性別・年齢
 ②「福祉いそご」を手に入れた場所
 ③ご意見・ご感想、をご記入の上、
4月30日(必着)までに、磯子区社会福祉協議会「アンケート係」へお送りください。当選は、図書カードの発送をもって代えさせていただきます。



3人まで意見を送ります! 少しでもご紹介します!!

- 「赤い羽根共同募金」福祉に使われているのだから位に思っていました。Vol.73で配食サービス、家事援助ボランティア団体さん等の活動に使われていることを知り、赤い羽根募金、やっぱり大切だなと思いました。身近な募金なんです。
- 募金やフェスタのお知らせがあり、わかりやすかったです。一人暮らしのおいちゃん、おばあちゃんのポストに届いていたならば、役立つと思います。
- 初めて読ませてもらって、磯子区で活動しているフードドライブに興味を持ちました!子供が食べなかったものや、大量に買って飽きて食べなくなった物など捨てるのはいつも勿体ないと感じていました。再利用していただける場所があるなら今後は利用させていただきます!! など

いつも貴重なご意見ご感想をありがとうございます。皆様から寄せいただいたご意見ご感想は、当紙の紙面充実のためにぜひ役立てさせていただきますので、今後もアンケートお待ちしております。

令和元年度広報紙編集委員
 委員長 ●古知屋 多恵子
 委員 ●鳥海 俊一/市野沢 和子/大西 奈美/印東 和子/岡田 はつみ
 鎌石 ハル子/日向野 直子/山口一江/工藤 昭子/中澤 悦子
 猪越 重吉/吉澤 幸治/庄司 利記/水越 尚登/森 佳代子

次号(第75号)は2020年10月発行予定です

幸せ♡支えの街 福祉いそご

令和2年3月発行
Vol.74

編集 ● 広報紙編集委員会
 発行 ● 社会福祉法人横浜市磯子区社会福祉協議会
 〒235-0016 磯子区磯子3-1-41 磯子センター5F
 TEL 045-751-0739 FAX 045-751-8608
 E-mail info@isoshakyo.com
 URL http://www.isoshakyo.com/

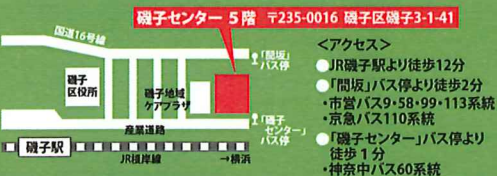
磯子区社会福祉協議会(区社協)では、皆さまからたくさんのご寄付、ご支援をいただいております。いただいたものは、地域の皆さまへお届けしています。多すぎて余ってしまう食材や、不要になった物品などを寄付して、社会貢献してみませんか。寄付の仕方や、活用方法などをご紹介します!

あなたにもできる社会貢献



特集
物品やお金の寄付 から
繋がる活動

幸せ♡支えの街 福祉いそご Vol.74



磯子区社会福祉協議会(磯子区社協)は、社会福祉法第109条に基づいて、「誰もが住み慣れた地域で幸せに暮らせるまちづくり」を合言葉に、身近な福祉課題について地域の皆さまと一緒に考え、取り組みをすすめています。

開館時間	磯子区社会福祉協議会 月～金 9:00～17:00	磯子区ボランティアセンター 月～土 9:00～17:00
	磯子区社協あんしんセンター 月～金 9:00～17:00 専用TEL:045-751-1567	磯子区移動情報センター 月～金 9:00～17:00 専用TEL:045-759-4005
	磯子区福祉保健活動拠点 月～土 9:00～21:00 ※ただし第4月曜日は17時まで 日・祝 9:00～17:00 (休日の場合はその翌日)	

※12月29日～1月3日は休館

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。

横浜市磯子区社会福祉協議会が行う活動の一部は、地域の方々や企業のご寄付に支えられています。寄付から繋がる活動についてご報告いたします。

01 フードドライブ

困窮などにより支援が必要な方や子ども食堂等への支援として賞味期限が2か月以上の食材の寄付を集めています。ご協力をよろしくお願い致します。

オナカもココロもいっぱい。あなたの芋モチ、ありがとう。

「今日、食べるものがない…」そんな思いをしたことがありますか？

日本には食事に不自由している人が多くいます。厚生労働省の調査では2015年の相対的貧困率は15.6%、約6人に1人が貧困という結果でした。中でも母子世帯の貧困率は突出しています。

日本の食品廃棄物などは年間2,759万トンです。その中でまだ食べられるのに捨てられる食べ物、いわゆる「食品ロス」は年間643万トンにも上ると言われています。そのうち、家庭からの食品ロスは291万トン占めているそうです。

(※農林水産省「2016年食品リサイクル法による定期報告結果」による)



フードバンクとは？

「食糧銀行」を意味する活動を行う団体のことです。企業から、まだ食べられるのに様々な理由（包装の破損、在庫過多、規格外等）で処分されてしまう食品を困っている人へ届ける活動で、同時に食品ロスを減らしていく一助ともなります。



フードドライブとは？

家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめて地域の子供食堂や生活困窮者などに寄付する活動です。

日本にはなじみの薄い言葉ですが、「地域の中でのおすそわけ」や「一人一品持ち寄り運動」といった方が分かりやすいかと思います。

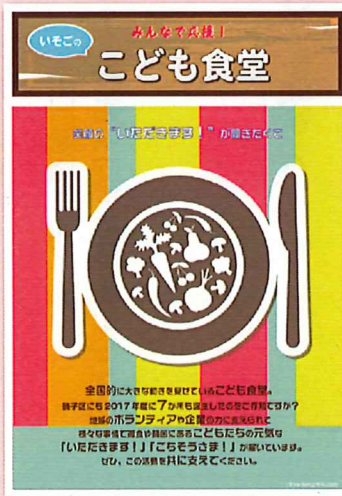


02 子ども食堂

磯子区では7か所の「子ども食堂」や「地域食堂」が2017年に誕生し、今も活動が続いています。担い手・開催場所・開催頻度など、様々な形態があります。

磯子区社協では、「子ども食堂に寄付してください」とお米やお菓子などのご寄付をいただくことがあり、これらの団体にお渡ししています。

「子ども食堂」「地域食堂」は、困難を抱える子どもへの気づきや見守りができます。継続的に開催されることにより、担い手や地域との信頼関係ができ、子どもや保護者にとって安心できる居場所となります。



03 善意銀行

皆さまからの善意のご寄付をお預かりし、必要とされる方々に配分する仕組みで、銀行の機能になぞらえて「善意銀行」と呼んでいます。



ご寄付の受付について

磯子区社会福祉協議会窓口へご持参いただくか、銀行振込をご利用いただけます。お振込みの場合は、事前に磯子区社会福祉協議会へご連絡ください。なお、振込手数料はご負担いただけますようお願い申し上げます。

【振込先口座】

横浜銀行 磯子支店(341) (普通)6079872
社会福祉法人 横浜市磯子区社会福祉協議会 善意銀行

財源

個人の方々、地域の団体のおまつりやバザーでの売り上げの一部、企業からなど様々な形でご寄付いただいております。

行先

お預かりしたご寄付は、寄付者のご意向に基づきボランティアセンター運営委員会が審議をし、地域福祉推進のため区内ボランティア団体や地区社会福祉協議会等に配分しています。

「高齢者福祉のために」「障害者福祉のために」「児童福祉のために」などの寄付金の配分先について、意向を示していただく事も可能です。

「福祉いそこ」最終ページに善意銀行にご寄付いただいた方のお名前(匿名含む)を掲載させていただいております。

所得税・法人税の優遇措置について

ご寄付をいただく確定申告などによって、所得税や法人税の優遇措置が受けられる場合があります。

●個人の場合

所得税法(第78条)および地方税法(住民税)上の「寄付金控除」を受けることができます。

●法人の場合

寄付された金額の一部を法人税法(第37条)の規定により「損金算入」することができます。

04 ヨコハマ寄付本

ボランティア宅配便



～読み終わった本が地域の福祉に役立ちます！～

横浜市社会福祉協議会とブックオフオンライン株式会社にて、本による寄付の新しいかたち「ヨコハマ寄付本」に取り組んでいます。読み終わった本の中には、市場価値があるにも関わらず、ゴミとして廃棄されてしまう本が多く存在します。「読み終わった本」の有効活用を通して、地域の福祉活動に参加しませんか？

協力企業が買取り、査定額とその査定額の10%に当たる金額が上乗せされ善意銀行に寄付され、社会福祉一般、高齢福祉、障害福祉、児童福祉の分野へ活用されます。

ご寄付の条件
定価のついているもの

ご寄付いただきたいもの
書籍、CD、DVD、家庭用ゲームソフト

受け付けられないもの
雑誌、ビデオ、百科事典、自費制作の品やノベルティ、読めないほど汚れているものや壊れているものなど

ご家庭で不要となった本やCD・DVD・ゲームをぜひご寄付ください

ヨコハマ寄付本の流れ

本が30冊以上またはCD・DVD・ゲームが5点以上の場合

本が30冊またはCD・DVD・ゲームが5点に満たない場合

寄附する本等を箱詰め

磯子区社協の窓口へ持参

ボランティアセンターホームページから申込し、必要事項を入力

集配業者が集荷に伺います

ブックオフオンラインにて査定後、査定金額が横浜市社協へ寄付されます



地区社協だより

地域で開催している行事も、みなさまのご寄付から成り立っているものが多くあります。各地区の取り組みについてご紹介します。

磯子 地区社協MAP



01 根岸地区

「おしゃべり会」で楽しく過ごしています

赤い羽根共同募金などのみなさまのあたたかいご支援をいただき「おしゃべり会」を上町町内会館で月3回開催しています。高齢者を対象にして季節折々の折り紙を折ったり、頭の体操などのゲームを楽しんでいます。時には、講師を呼んでためになる話や手品や落語などの演芸などの様々な催しで楽しみます。

参加者は必ずおにぎりを持参し、ボランティアの手作りのおいしいおかずで昼食をいただきます。おしゃべりも弾みます。



素敵な作品ができていきます



おしゃべりしながら食べるご飯はおいしいです

02 滝頭地区

親子ふれあいフェスタを通じた交流

私達、滝頭地区子ども会連絡協議会は、現在5つの自治会町内会の子ども会が各々活動しながら、毎年秋に滝頭小学校で「親子ふれあいフェスタ」を開催しています。地区社協・スポーツ推進委員・青少年指導員・消防団・滝頭小との共催で模擬店・さわやかスポーツ・作品展・ミニライブなどを行っています。各団体の交流と地域の方々との活動理解、参加を目指しています。地域の催し物に積極的に参加して頂けると私達もやりがいがあります。



キーホルダー作り楽しいな!

03 岡村地区

色々な行事が活発に行われています

岡村地区では、年間を通じて様々な行事が行われています。中でも、春には岡村梅林公園での梅まつり、夏には夏まつりが開催されます。その中で民生委員・児童委員は、梅まつりには、うどん、カレーを販売、夏まつりにはバザーを開いています。その収益は地区社協に振り入れられて地域の各種団体の行事の補助運営に役立てられています。高齢者のつどい、ふれあいサロン、子ども会行事等々、多岐にわたっています。



梅まつりでうどん販売

夏まつりバザーの様子

04 磯子地区

地域の学校も参加するふれあい運動会開催

「ふれあい運動会」は磯子地区社協、連合町内会、青少年育成協議会、スイッチON磯子、磯子区社協より資金の協力を得て、毎年磯子センターの体育館で行っています。障害のある方とその家族、一人暮らしの高齢者が参加者です。

運営実行は青少年指導員とスポーツ推進委員が担い、その他は民生委員・児童委員、赤十字奉仕団、磯子地区社協が役割分担します。特に岡村中学校、汐見台中学校の中学生ボランティアが若い力でこの運動会を大きく盛り上げてくれます。



ふれあいながら競技も行います

05 汐見台地区

第八住宅高齢者の集い

汐見台連合自治会より単位自治会に、見守り員を出すよう要望があり、第八住宅では元民生委員・児童委員OB2名が参加しました。70歳以上の方をお呼びして楽しいお茶会をすることを第八住宅高齢者の集いの目標にしました。年2回開催し、今回で8回目のお茶会となりました。会費は300円いただきお茶とお菓子で楽しい時間を過ごしています。ケアプラザの職員2名に参加してもらい、健康の事、もしも手帳の事、詳しく説明していただいたこともあります。

第八住宅高齢者の集いが始まる前は挨拶程度のお付き合いでしたが、今では親しくなり困りごとなどなんでも話せるようになり、この会の必要性を日々感じております。

06 屏風ヶ浦地区

「子ども食堂」がすっかり定着しました

2017年にオープンした「屏風みんなのキッチン」は20回を超え利用者も約120名になりました。場所は屏風ヶ浦地域ケアプラザにて第2金曜日17時～19時まで月1回開催しています。利用者は幼児約20名、小学生70名～80名、中学生3名、大人30名(大人のみ300円)、子どもだけの利用の場合は帰り時間も記入しています。

運営は区社協の助成金、善意銀行からの寄付または東日本大震災の時のボランティア活動に行ったメンバーからの縁で相馬漁業組合からの年3回新鮮な魚を届けて頂いています。その他に食材は区社協のフードドライブ、スズキヤ新杉田店、鎌倉ハムクラウン商会などから寄付を頂いています。スタッフは13名にて献立から調理、食器洗いに追われながら生き生きと活動しています。美味しいと頻る子どもたち、食後も折り紙などで遊ぶその笑顔を見て、食を通じて子どもたちの居場所を確保したいと願っています。



利用者の皆様です



調理の皆様

本日の献立

07 杉田地区

ボランティアグループの活動

磯子区ボランティアグループ連絡協議会はボランティアの依頼があれば協力し自主的活動をしています。そこから独立発足してきた杉田地区ボランティアグループは地域とのつながりを大事にしています。磯子区障害者地域活動ホームの給食作り、いそご地域活動ホーム「いぶぎ」、新杉田地域ケアプラザなど、活動は多様です。発足と共に活動を続けているメンバーもいます。高齢化が進み若い方の参加を希望しています。毎月の定例会は情報交換の場所でもあり地域に根ざした活動を長く続けたいと思っています。



いぶぎまつりの様子

08 上笹下地区

世代間交流の場である「わいわい食堂」

氷取沢地区「わいわい食堂」は代表の田中さんの呼びかけから輪が広がり「地域のみなが交流する場所づくり」として、毎月第2金曜日に上笹下地域ケアプラザにて開催しています。

地元の方々(住民・企業)からの地元野菜や米、備品、ゲームの景品等の寄付と助成金、参加費などにより、地域の有志の方々スタッフが運営しています。調理室に運び込まれた大量の食材が、回を重ねて増ったチームワークで食堂オープンの時間には約100名分の美味しいそうなカレーとコーンスローサラダに変貌! 代表の田中さんから「立ち上げ当初は支援のお願いに奔走しました。継続のためには今でも声掛けは欠かせません。」との気持ちのこもったお話がありました。



幼児用食事のセットです

09 洋光台地区

ひとり暮らし高齢者のお食事会

毎年恒例で11月に3回にわけて開催されています。参加対象者は民生委員・児童委員が訪問担当している希望者です。皆さんと昼食しながらおしゃべりしてコミュニケーションをとり、一緒に歌ったり余興を楽しんだり、ビンゴゲームではいつも盛り上がっています。この食事は例年6月に連合自治会町内会の協力を得て、「福祉バザー」で開催した収益金が支援の一部となっています。今後も是非各ご家庭で「福祉バザー」の出品にご協力をお願いします。



食事後みんなでYMCA

支えあう黄色と緑のバンダナ

災害時に配慮が必要な人が必要な支援を受けることができるよう、「配慮が必要な人」は「黄色」、「支援ができる人」は「緑色」のものを身につけようという取組を横浜市全域で進めています。たとえば、地域の防災訓練でバンダナを身につけてみるなど、みなさんの地域でも黄色と緑のバンダナを活用してみませんか？



磯子区版の黄色と緑のバンダナ配布中

詳しくは磯子区社会福祉協議会までお問合せください。

ガイドボランティア大募集!!

障害児・者の
外出のお手伝いを
しませんか？

ガイドボランティアとは？

障害のある方の外出付き添いボランティアに対し、横浜市より奨励金が支払われます。
(1回500円、ガイドの開始場所または終了場所から交通費がかかる場合1000円)
男女ともに幅広い年齢層の方が活躍されています。18歳以上の方であればどなたでも登録可能です。
※特に資格は不要ですが、事前の登録が必要です。



外出先はいろいろ...

- 銀行・郵便局
- 学校
- 病院
- 買物
- 野球観戦
- 区役所
- 散歩
- 美術館
- など

子どもが大好き、
子どもに関わる
ボランティアに
興味がある

買物や通院の
付き添いなら
できそう...

学生のうちから
ボランティアの
経験してみたい

こんな人いませんか？

定年退職して
時間ができた。
何かできることあるかな？

仕事が休みの日に
月1回くらいでも
手伝えなかな

問い合わせは...
磯子区移動情報センター ☎045-759-4005

磯子区社会福祉協議会 地域における防災・減災を考える!!

防災・減災の啓発グループ「防災を考える会・磯子」をご紹介します。



いそご区民活動支援センターフォーラム参加

平成22年10月に発足致しました。地域の防災力を高め、災害時の被害を減少させるために、防災・減災に関して多角的に考え取組、啓発・普及活動を行っています。代表の吉澤幸治さんからお話を聞きました。

私は、会の代表になって3年目です。ここ数年、毎年のように甚大な風水害が発生しています。これまでに経験したことがないような台風や豪雨で昨秋は多くの河川の堤防が決壊し、深刻な災害に見舞われました。これは地球温暖化の影響もあり、自然災害は激化する方向にあります。今までは大地震による防災・減災を中心に啓発活動をして参りましたが今後は気象災害も合わせて活動を進めていきたいと考えております。

身近な問題として、大地震も気象災害にしても防災・減災に対する備えは同じです。何時発災するか分からない災害に備えていれば防災・減災につながる事が出来ます。愛する家族を災害から守るために今何をしたら良いのか、災害から命を救うのは冷静な判断と日ごろの備えです。

「防災を考える会・磯子」は家族みんなで防災対策を考えるための楽しくて、ためになる出前講座を開催しています。防災グッズの紹介や、紙芝居、防災についてのクイズ等ご意見や要望に応じて取組んでおります。地域における防災・減災活動を広げていくためにぜひ、お声をかけていただければと思います。

防災 防災を考える会・磯子
(代表:吉澤幸治)

電話:090-6029-8903
FAX:045-831-5223
メールアドレス:
yo1107@mtb.biglobe.ne.jp

検索

防災出前講座「子どもは私が守る」

実施報告 令和元年度「いそごふくしフェスタ」

令和元年10月27日(日) 10:00~14:00
今年度も「地域のボランティア団体・障害関係団体の啓発」を目的とした「いそごふくしフェスタ」を開催し、大勢の方にお越しいただきました。

磯子区福祉保健活動拠点では「ミニ手話講座」「発達障害地域理解啓発」「視覚障害者誘導体験」「磯子区災害ボランティアネットワークの活動紹介・防災ミニゲーム・防災おはなしえぶるん」「各種団体のパネル展示・防災グッズ展示」、駐車場では「ハンディキャブ車乗車体験・見学」、総合案内として「風船やプログラム配付」が行われ、福祉活動の普及啓発をすることができました。

また、スタンプラリーの景品には磯子区内の企業から協賛品を提供していただきました。ご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。



令和2年度 助成金申請団体募集!

磯子区社協では非営利の地域福祉推進事業や障害福祉事業などを支援するための助成金制度があります。その申請団体を下記日程で募集します。対象条件などの詳細が異なりますので、ご確認の上お申込みください。

「磯子区ふれあい助成金」
「磯子区社会福祉協議会団体助成金」
(旧ふれあい助成金枠)
募集期間 ● 令和2年4月8日(水)~15日(水)
9時~16時30分(土・日・祝 除く)

「いそごサロン事業助成金」
募集期間 ● 令和2年5月14日(木)、15日(金)
9時~16時30分
【いそごサロン事業助成金】については、助成金説明会に出席した団体のみお申し込みいただけます。

申込方法 ● いずれも所定の様式に必要事項を記入の上、上記期間内に直接区社協窓口へお持ちください。
詳しくは→ <http://www.isoshakyo.com/>
対象条件など詳細はお電話にてお問合せください。

令和2年度「磯子区ふれあい助成金」「いそごサロン事業助成金」説明会
令和2年3月18日(水) 10:00~18:00~
※2回とも説明会の内容は同じです。申込は不要です。

お問合せは...
磯子区社会福祉協議会 Tel.:045-751-0739